

01 夢現の風 (琴浦町)

報告概要

琴浦町八橋を拠点に活動する団体「夢現の風」は、八橋の賑わいと地域づくりを目的に2017年に設立されました。「八橋をなんとかしたい」「今ある地域資源を活用して地域を盛り上げたい」という想いを持って、会員ひとりひとりが活動を行っています。

活動の基本としては、八橋にある地域づくりの源泉を活用した取り組みや、先人たちが残した伝統や知恵を継承する取り組みを行い、地域を豊かにして人と人とのつながりをつくります。具体的には、歴史的建造物である旧中井旅館を活用した「灯り展&昭和50年間の報道写真展」や、子どもと家族のふれあいの場としての八橋ツアーの開催が行われました。また、高齢者や障がい者のサポートにも取り組みました。

これらの活動を行うには、とっとり県民活動活性化センターをはじめ、琴浦まちづくりネットワークなど他の団体との連携が必要不可欠です。これからも協力し合って活動を続けていきます。



02 高千穂自治会 （北栄町）

報告概要

高千穂自治会は、北栄町の西側、琴浦町との境界線に位置しています。人口40人、高齢化率75%の集落で、2019年に「高千穂の将来はどうなるのか」と考え、高千穂自治会の中に「高千穂を考える会」を発足しました。「持続可能な自治会活動」を目的に、出前講座などを活用し研修会を実施しています。

活動内容は、短期的な取り組み（短期で結果が出せるもの）として、集落内の景観形成や自治会活動の課題抽出などを行い、中長期的な取り組み（結果が出るまでに時間を要するもの）としては、将来的なUターンにつなげるため、広報誌やカレンダーを制作し、地域外で暮らしている高千穂出身者に送付しています。この広報誌の制作には、鳥取大学の学生が関わりました。

これらの活動を通して、集落の将来を考えるようになったり、魅力を再発見できたりしました。また、集落出身者への情報発信が増え、集落出身者からの思いが届くなど目に見える形で成果が出ました。今後も意見交換会や保全活動、情報発信等を行っていきます。



03 竹田地域協議会 （三朝町）

報告概要

平成19年1月に竹田地域協議会を発足し、発足時から10年間、4つの部会で構成し、地域振興（行政への要望、環境保全活動）、教育民生（体育文化活動）、産業振興（竹田御膳、ウド・ガマ栽培、生活交通実験）、学童保育（学童、土曜楽校）の活動をしてきました。しかし、10年経過し少子高齢化の問題はさらに深刻化し、それに対応できる組織体制へ見直しを行うこととしました。

現在の取り組みテーマは、①集落機能の補完（区長の困り事を共有する懇談会）、②組織の連携強化（消防団との連携による防災活動、民生委員と連携した見守り）、③課題対応力の強化（竹田の宝を守る活動グループの編成（食、山、大谷かばんのグループ））の3つです。

協議会が大切にすることは、「『竹田らしさ』を磨くこと」と「限界集落が増える中で集落・地域の暮らしを守り、困り事や大切なもの（誇り）に寄り添うこと」です。先の将来のことは語れませんが、目の前の課題にひたすらに取り組んでいきたいです。



04 打吹地区活性化NPOを準備する会 （倉吉市）

報告概要

打吹地区NPOを準備する会では、「空き家物件化のためのDIYステーションの開設」を行っています。放置空き家再活用に関連して発生する改装費用削減の活動を支援するため、必要な拠点や仕組みなどを整備することや、その取り組みを見える化し周辺地域への周知を図ることを目的に活動しています。

倉吉市の白壁土蔵群は観光地としても有名ですが、倉吉市打吹玉川伝統的建造物群保存地区に指定されており、町屋を保存していくことを義務付けられています。鳥取県中部地震以降所有者の高齢化や関係者が市内におられないことで、放置空き家が増えています。

「放置空き家をこのままにしておくことは、地域の活性化どころか負の遺産になってしまう。今、取り組まないと間に合わない。」という思いをもって、活動に取り組んでいます。

